

最高主権者エホバを信頼する

「エホバ.....あなただけが地球全体を治める至高者」。詩編 83:18

ポイント：エホバは最高主権者で、今そして将来どんなにつらいことがあっても必ず助けてくれます。この記事を学ぶと、エホバをもっと信頼できるようになります。

1. ヨブはどんな悲劇に襲われましたか。

神に仕えるヨブは何もかも失いました。子供たち、健康、財産を失っただけでなく、評判も傷つけられました。友達を自称する人たちからひどいことを言われて傷つきました。愛する妻はとうとう取り乱し、ヨブに「神を侮辱して死んでしまいなさい！」と言います。（ヨブ 2:9 ヨブの妻はヨブに言った。「こうなってもまだ神に忠誠を尽くそうとするの？ 神を侮辱して死んでしまいなさい！」；15:4, 5 あなたは、神を畏れる気持ちを弱ませ、神への関心を薄れさせる。あなたは自分の過ちに踊らされて語り(*あなたの過ちがあなたの口に何を言うかを教え)、ずる賢い話し方をする。；19:1-3 ヨブはそれを聞いて言った。2 「いつまで私をいら立たせ、言葉で打ちのめすのか。3 こうして10回も私を叱責し(*侮辱し)、私をひどく扱いながら恥じていない。) 次々と悲劇に見舞われたヨブは、神を信頼できなくなってもおかしくありませんでした。エホバを愛し、仕える人たちをエホバは大事にしている、と感じても不思議ではありませんでした。

2-3. どんなふうを感じる人もいますか。ヨブ記からどんなことを学べますか。

2 「困難で危機的な時」に生きている私たちも、エホバへの信頼が徹底的に試されます。（テモ 2:3:1 このことを知っておきなさい。終わりの時代は困難で危機的な時になります。) 次々に試練に遭うと、心が折れそうになるかもしれません。エホバは本当に自分を気遣ってくれているんだろうかと思うこともあります。

3 そんなふうを感じてしまうことがあるとしても、自分は信仰の弱い人間だなんて思わないでください。ヨブは、エホバを愛し続ける人をエホバは救ってくれるということを学びました。私たちもエホバが絶対に助けてくれると信じられます。そういう信頼を持つために、ヨブ記から学べる大切な2つのポイントを考えましょう。①つ目は、エホバだけが最高主権者だということです。②つ目は、全能の神は目的の達成のために世界の出来事をコントロールできて、自分に仕える人たちを必ず守る、ということです。

サタンがそこに来た

4. ヨブ記に出てくる天での集まりには誰が来ましたか。

4 ある日、「**真の神の子たち**」が天でエホバの前に集まりました。すると、「**サタンもそこに来**」ました。(ヨブ 1:6 さて、真の神の子たち(c*へ語慣用句。神の天使たちを指す)が来てエホバの前に立つ日となった。サタンもそこに来た。) 歴史的に見て、聖書の中でサタンという名前が出てくるのはここが初めてです。**サタン**とは「**反抗する者**」という意味です。サタンはもともと**神の家族の1人**でしたが、**神に反抗**して**エホバとエホバの家族全体にとっての敵**になっていました。エホバがエデンの園でサタンに語った**創世記 3章 15節**そして私は、あなたと女の間、またあなたの子孫(d*種)と女の子孫(d*種)の間に敵意を置く。彼(c*女の子孫のこと)はあなたの頭を砕き、あなたは彼のかかるとに傷を負わせる(*を砕く)。の言葉から、**サタン**が、「**子孫**」を**生み出す**「**女**」つまり**エホバの天の家族の一員ではなくなっていた**、ということが**分かります**。

5. 天の集まりでの会話からどんなことを学べますか。

5 エホバは、その**天の集まりでの会話**を聖書に記録しました。その会話から、**サタン**が**中傷**していることや、**冷酷**だということが**分かります**。(ヨブ 1:9 サタンはエホバに答えた。「**ヨブは本当に純粋な気持ちで神を畏れているのでしょうか。**」**啓示 12:10**私は大きな声が天でこう言うのを聞いた。「今や、私たちの神の救いと力と王国、またその方のキリストの権威が実現しました！**私たちの兄弟たちを神の前で昼も夜も訴える者が投げ落とされた**からです。」と比較。) **一方**、**エホバが無限の力をいつも正しく使う**ということが分かって**安心**できます。**全能の神**は、**ほかの誰かの行動を制限できる**ということも読み取れます。

エホバには制限する力がある

6. エホバが天での集まりを取り仕切っていたことはどんなことから分かりますか。(ヨブ 1:7, 8)

6 **ヨブ 1:7, 8** エホバはサタンに、「どこから来たのか」と尋ねた。サタンはエホバに答えた。「地上を巡り、歩き回ってきました」。8 エホバはサタンに言った。「私に仕えるヨブに注目したか。地上に彼のような人はほかにいない。神に忠誠を尽くす(*非難されるところがない)正直な人で、神を恐れ、悪から離れている」。を読む。エホバはサタンに「**私に仕えるヨブに注目したか**」と尋ねます。このように**エホバが会話を切り出した**ことから、この**集まりを取り仕切っていたのがエホバだ**ということが分かります。**サタンがヨブをターゲットにしている**ことは、エホバに**お見通し**でした。では、エホバは**ヨブを守るために**、**主権者としての力を** **どんなふうに使った**でしょうか。

7. ヨブ 1章 10, 11節で、サタンは人間がどんな理由でエホバに仕えているとほめかしましたか。

7 **ヨブ 1:10, 11** 彼も家族も全ての持ち物も、あなたが柵で囲んで守ったのではありませんか。あなたの祝福によって彼の仕事はうまく運び、家畜は非常に多くなりました。11 試しに、あなたの手を出して、彼の持つもの全てを破壊してください。彼はきっと面と向かってあなたを侮辱します」。を読む。**エホバは最高主権者**なので、**力と権限を思いのままに使うことができます**。(エレ 32:17 ああ、主権者である主エホバ！あなたは、大きな力と伸ばした腕によって天と地を造られました。あなたに不可能なことは何もありません。**ダニ 4:35** 地上に住む全ての者は無に等しく

、その方は天の軍勢にも地上に住む人々にも望み通りのことを行う。誰もその方の行動を妨げる(*手をとどめる)ことはできず、『いったい何をしたのか』と言うこともできない。)でもサタンは、エホバの力の使い方は間違っていると主張しました。ヨブなど人間を買収して自分の側に付かせていると言ったわけです。また、みんな見返りを期待してエホバに仕えているにすぎない、とほのめかしました。エホバはどうするでしょうか。

8-9. エホバはどのようにサタンの行動を制限しましたか。どうしてですか。(ヨブ 1:12) (挿絵も参照。)

8 **ヨブ 1:12** エホバはサタンに言った。「いいだろう、彼の持つもの全てをあなたの手に委ねよう。ただし、彼自身に手を出してはならない！」そこで、サタンはエホバの前から出ていった。を読む。エホバはサタンの願い通りにさせましたが、「彼[ヨブ]自身に手を出してはならない！」とはっきり伝えて、サタンの行動を制限しました。そのようにして、サタンにどんなことまでが許されているかをみんなの前で明らかにしました。サタンにはエホバの決めた制限を超えることができなかったの、言われた通りにするしかありませんでした。今でもサタンにできることは限られています。こうしてエホバは力と権威を使って、自分の名誉とヨブを守りました。

9 **ヨブ**はエホバに背を向けませんでした。(ヨブ 1:22 こうしたことがあっても、ヨブは罪を犯さず、神を非難(*神のせいには)しなかった。)サタンの最初の攻撃はあえなく失敗します。でも、サタンは諦めませんでした。



エホバはサタンが天使たちの前で自分の意見を主張するのを許した。
(8-9 節を参照)

10. エホバはサタンにヨブを攻撃する機会をもう一度与えました。どうしてですか。(ヨブ 2:2-6)

10 **ヨブ 2:2-6** エホバはサタンに、「どこから来たのか」と尋ねた。サタンはエホバに答えた。「地上を巡り、歩き回ってきました」。3 エホバはサタンに言った。「私に仕えるヨブに注目したか。地上に彼のような人はほかにいない。神に忠誠を尽くす(*非難されるところがない)正直な人で、神を畏れ、悪から離れている。今でも私に忠誠を尽くしている。あなたが私をけしかけ、不当にも彼を破滅させ(d*のみ込ませ)ようとしているのに」。4 サタンはエホバに答えた。「誰でも自分の身が一番(d*皮膚のためには皮膚)です。人は自分の命を守るために、自分が持つもの全てを差し出します。5 試しに、あなたの手を出して、彼の体に傷を負わせて(d*骨と肉にまで触れて)ください。彼はきっと面と向かってあなたを侮辱します」。6 エホバはサタンに言った。「いいだろう、あなたの手に委ねよう。ただし、命を奪ってはならない！」を読む。サタンは、今度こそヨブをエホバに背かせようとしています。それで、ヨブは命を守るためなら神を侮辱するはずだと主張します。エホバはサタンの主張が間違っていることを証明するため、ヨブを攻撃する機会をもう一度与えます。でも、「命を奪ってはならない！」と言って、またサタンの行動を制限し

ました。サタンは今回も従うしかありませんでした。ヨブが辛い経験をしている時も、至高者であるエホバが物事を完全にコントロールしていたことが分かります。

エホバはヨブの苦しみを終わらせた

11. エホバは、試練に耐えたヨブにどのように報いましたか。 (ヨブ 42:10-13)

11 ヨブ 42:10-13 ヨブが友人たちのために祈った後、エホバはヨブの苦難を取り去り、再び豊かな生活を送らせた(d*エホバは捕らわれていたヨブを戻した)。エホバは、ヨブが以前に持っていた物を、2倍にして与えた。11 ヨブの兄弟姉妹やかつての友人が皆やって来て、ヨブの家で一緒に食事をした。皆は、エホバがヨブの身に生じるままにしたさまざまな災難のことで、同情して慰めた。一人一人がヨブに、お金と金の輪1つを贈った。12 エホバがヨブを祝福したので、ヨブの残りの人生は以前よりも豊かになった。ヨブは、羊1万4000匹、ラクダ6000頭、牛1000対、雌ロバ1000頭を持つようになった。13 さらに、息子7人と娘3人を持つようになったを読む。ヨブがエホバから絶対に離れないということがはっきりしました。それでエホバはサタンに攻撃をやめさせ、ヨブの苦しみを取り除きます。エホバが決めたことなので、今回もサタンにはどうしようもありませんでした。エホバが大切にしているヨブを苦しめ続けることはできませんでした。

12. エホバは自分に仕える人たちを救う力をどのように発揮してきましたか。

12 この終わりの時代にも、エホバは自分に仕える人たちを救う力を発揮してきました。例えば1945年、ナチスの強制収容所にいた230人のエホバの証人は、死の行進を生き延びることができました。その人たちは決議文を出し、その中でこう書いています。「長い苦しい試練の時期は過去のものとなり、生き長らえられ、あたかも火の燃える炉からのごとくに危く救い出された者たちの身には火のにおいすらついていません。.....逆に、彼らはエホバから与えられた強さと力にあふれて.....います」。さらにこう続けています。「私たちはただ一つの願い、すなわちライオンの穴に留まっていた期間[の後、]永遠にわたって.....エホバ.....に仕えさせていただきたいとの願いを抱いてい[ます]。そのように仕えること自体、私たちにとっては最大の報いです」。(ダニエル 3:27)そこに集まっていた太守、長官、総督や他の高官たちは、3人の体が火の影響を全く受けていないのを見た。髪の毛1本も焦げておらず、マントも元のままで、火のにおいさえ付いていなかった。;6:22 私の神が天使を遣わして、ライオンの口をふさいでくださいましたので、私は無事です。私は神の前で潔白であり、王に対しても何も悪いことはしておりませんと比較

13. 苦しい思いをする時、どんなことを考えるといいですか。(写真と挿絵も参照。)

13 私たちも、ライオンの穴に投げ込まれたように感じることがあります。(ペテロ 5:8-10)頭がさえた状態(*鋭敏な感覚/冷静さ)を保ち、油断なく見張ってください。敵である悪魔が、ほえるライオンのように歩き回って、誰かをむさぼり食おうとして(*むさぼり食おうと探して)います。9 揺るぎない信仰を持ち、悪魔に立ち向かってください。ご存じの通り、世界中にいる、信仰で結ばれた兄弟たちが、同じような苦しみを経験しています。10 皆さんが少しの間苦しんだ後、惜しめない親切に満ちる神は、皆さんの訓練を終えます。永遠の栄光を与えるためにキリストを通して

招いてくださった神が、皆さんをしっかりと人、強い人、揺らぐことのない人にして下さるのです。) 心が折れそうになり、出口のないトンネルにいるような気持ちになるかもしれません。そんな時、ヨブのことを思い出すと力が湧いてきます。エホバには私たちの苦しみを終わらせる力があります。それが今ではないとしても、将来必ず終わらせてくれます。エホバはこの悪い世界が終わる時を決めていて、その時が遅れることはありません。



エホバは自分に仕える人たちの苦しみを

必ず終わらせる。(13節を参照)

エホバは自分に仕える人を大切にする

14-15. エホバは自分に仕える人のことをどう思っていますか。それでどんなことをしますか。(ヨブ 14:15) (挿絵も参照。)

14 ヨブ 14:15 あなたは呼んでくださり、私はあなたに答えます。あなたはご自分の手で造った人に再び会いたいと願い(*人のことを慕い)ます。を読む。天のお父さんエホバは自分に仕える人をととても大切に思っています。たとえ亡くなってしまったとしても、生き返らせたいと思うほどに愛しています。死という耐え難い悲しみを、復活という大きな喜びに変えてくれます。(イザ 65:17 私は新しい天と新しい地を創造している。以前の事柄は思い出されることも、心に浮かぶこともない。)

15 もちろん、ヨブはサタンが支配する世界で生き続けなければいけませんでした。エホバはヨブが元通り健康になるようにし、以前よりも多くの良いものを与えました。でも将来、ヨブのためにもっと素晴らしいことをします。エホバは自分に仕える人たちに、最高に幸せで楽しい人生を送ってほしいと思っています。それで、美しい楽園でいつまでも生きられるようにしてくれます。(啓 21:3, 4 その時、王座から大きな声がした。「見なさい！ 神の天幕が



人々と共にあり、神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるようになるのです。4 神は人々の目から全ての

涙を拭い去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったのです。) 最高主権者であるエホバがぜひそうしたいと願っています。つらい時にそのことを考えると、心が温かくなります。

(上画：試練に耐えたヨブはエホバからたくさんの良いものをもらい、妻と共に幸せな人生を送った。(14-15節を参照))

16. エホバが亡くなった人を生き返らせることができるのはどうしてですか。

16 長生きしたヨブも最後には死んでしまいました。でもエホバは主権者であり、何でもできる方です。そのエホバの前では死も無力です。(申 32:39 今こそ知れ、私、この私が神である。私のほかに神はいない。私が死なせ、また生かす。私が傷つけ、そして癒やす。私の手から救い出せる者はいない。) エホバは決めた時に愛する人を生き返らせます。それを阻める者など誰もいません。(ロマ 8:38, 39 私は確信しています。死も、生も、天使も、政府も、今あるものも、これから来るものも、力も、39 高さも、深さも、ほかのどんな創造物も、主であるキリスト・イエスを通して示される神の愛から私たちを引き離すことはできません。)

エホバを心から信頼する

17. サタンはエホバに仕える人たちを消し去ることができていません。どうしてそういえますか。

17 ヨブ記を読むと、エホバを心から信頼できることが分かります。サタンはエホバに仕える人たちを消し去ろうとしてきました。でもうまくいっていません。その証拠に、今、世界中に約900万人のエホバの証人がいます。強力な国家も宗教団体も、一見何の力もなさそうなエホバの証人を壊滅させることはできていません。エホバを崇拝し良い知らせを広めるのを阻むことも、サタンの卑劣さを暴くのを止めることもできていません。エホバの証人を攻撃するために使われるどんな武器も役に立ちません。(イザ 54:17 あなたを攻撃するために作られるどんな武器も役に立たず、裁判においてあなたを責めるどの舌も有罪とされる(*あなたによってとがめられる)。これはエホバに仕える者たちが受ける財産であり、私が彼らを正しいと見なす」と、エホバは宣言する。) 死も私たちが止められません。エホバは愛する人たちを必ず生き返らせるからです。(ホセ 13:14 私は墓(*墓の力)から彼らを救い出す(*買い戻す)。死から彼らを取り戻す。死よ、さあ、とげで刺してみよ。墓よ、さあ、破滅させてみよ。私は同情を示さない。) 全ては最高主権者エホバのおかげです。

18. 将来大変な目に遭うとしても、怖がらなくていいのはどうしてですか。

18 ヨブの物語を考えると、将来大変な目に遭うとしても怖がらなくていいということが分かります。大患難の時、エホバに仕える人たちはサタンとその手下から攻撃されて、絶体絶命の事態に追い込まれるかもしれない。でもヨブの時と同じように、エホバは物事を完全にコントロールします。サタンがエホバに仕える人たちを壊滅させることはできません。エホバはもうすぐ、サタンが引き起こした悪いことを全部終わらせます。サタンと邪悪な天使たちは1000年間底知れぬ深みに拘束され、何もできなくなります。(ルカ 8:31 邪悪な天使たちは、底知れぬ深みに去っていけとは命じないでください、と嘆願し続けた。啓 20:1-3 私がさらに見ていると、底知れぬ深みの鍵と大きな鎖を持った天使が天から下ってきた。2 その天使は、あの初めの蛇である竜、悪魔サタンを捕らえて、1000年間動けないように縛った。3 そして竜を底知れぬ深みに投げ込み、そこを閉じて封印し、1000年が終わるまで竜がもはや人々を惑わさないようにした。その後、竜はしばらくの間解放されることになる。) 1000年の後、エホバの言っていた通り、サタンとサタンの側に付く天使や人は滅ぼされます。(創 3:15 そして私は、あなたと女の間、またあなたの子孫

(d*種)と女の子孫(d*種)の間に敵意を置く。彼(*女の子孫のこと)はあなたの頭を砕き、あなたは彼のかかどに傷を負わせる(*を砕く)。[ロマ 16:20](#) 平和を与える神により、間もなくサタンは皆さんの足の下で砕かれます。私たちの主イエスの惜しみない親切が皆さんに示されますように。[啓 20:10](#) そして、人々を惑わしていた悪魔は火と硫黄の湖に投げ込まれた。そこにはすでに野獣と偽預言者もあり、彼らは永久に昼も夜も苦しめられる(*拘束される。)

19. [エホバに仕える人](#)にはどんな将来が待っていますか。(挿絵も参照。)

19 [エホバに仕える人](#)たちは[新しい世界](#)での[素晴らしい日々](#)を心待ちにしています。[永遠に生きられる](#)という[輝かしい未来](#)が近づいています。エホバはこう[約束](#)しています。「[見なさい！ 私は全てのものを新しくしている](#)」。[\(啓 21:5](#)そして、王座に座っている方が、「見なさい！ 私は全てのものを新しくしている」と言い、さらにこう言った。「[書きなさい。これらの言葉は信頼でき\(*確かで\)、真実である](#)」。) [どんなふうに新しくなる](#)のでしょうか。サタンや邪悪な天使たちがいないので、[憎しみや暴力はなくなります](#)。これまで[経験したことのないすがしき](#)を感じるでしょう。不安や悩みのせいで[眠れぬ夜を過ごす](#)ことはもうありません。ハルマゲドンの後、エホバの力で[病気は全て癒やされて](#)いきます。さらに、[亡くなった人たちの復活](#)が始まります。エホバが私たちに[楽しんでほしい](#)と思っている[最高の毎日](#)を送れるようになります。



エホバは、[大変な経験](#)をしてもエホバを愛し続けた人たちに[必ず報いる](#)。
(19節を参照)

20. [これから](#)もどうしたいと思いませんか。

20 [終わりの時代](#)に[大変な経験](#)をすとしても、[主権者エホバ](#)を心から[信頼](#)し、[エホバが望むこと](#)を行っていきましょう。[エホバを本当に愛している](#)のでそうします。根も葉もないそを言うサタンには屈しません。エホバの主権を心から認める人には明るい未来が待っています。[主権者エホバ](#)は、[愛する人に必ず報いてくださる方](#)だからです。

[ヨブ記から次のことがどのように分かりますか](#)

1. [エホバは最高主権者](#)

・S08 「[彼\[ヨブ\]自身に手を出してはならない！](#)」とはっきり伝えて、[サタンの行動を制限](#)し、[サタンにどんなことまでが許されているか](#)をみんなの前で[明らかに](#)した。[エホバ](#)は[力と権威](#)を使って、[自分の名誉とヨブ](#)を守った。

・S10 [エホバ](#)は[サタンの主張が間違っている](#)ことを[証明](#)するため、[ヨブを攻撃する機会](#)をもう一度与えたが、「[命を奪ってはならない！](#)」と言って、[またサタンの行動を制限](#)した。ヨブがつらい経験をしている時も、至高者であるエホバが物事を完全にコントロールしていたこと分かる。

2. エホバは愛する人に報いたいと思っている

・S14 お父さんエホバは自分に仕える人をととても大切に思って、たとえ亡くなってしまったとしても、生き返らせたいと思うほどに愛してくださっている。死という耐え難い悲しみを、復活という大きな喜びに変えてくださる。

・S16 長生きしたヨブも最後には死んでしまったが、エホバの前では死も無力で、決めた時に愛する人を生き返らせる。

3. 最高主権者エホバを心から信頼できる

・S17 サタンはエホバに仕える人たちを消し去ろうとしてきたが、うまくいっていない。その証拠に、今、世界中に約900万人のエホバの証人がいるが、強力な国家も宗教団体も、一見何の力もなさそうなエホバの証人を壊滅させることはできず、証人を攻撃するために使われるどんな武器も役に立っていない。証人たちがエホバを崇拜し良い知らせを広めるのを阻むことも、サタンの卑劣さを暴くのを止めることもできていない。

・S20 終わりの時代に大変な経験をするとしても、主権者エホバを心から信頼し、エホバが望むことを行っていくなら、主権者エホバは、愛する人に必ず報いてくださる。

153 番の歌 勇気をください

△ (詩 83:18) 人々があなたのことを知りますように。エホバという名を持つあなただけが、地球全体を治める至高者であるということ。

△ (ヨブ 2:9) ヨブの妻はヨブに言った。「こうなってもまだ神に忠誠を尽くそうとするの？ 神を侮辱して死んでしまいなさい！」

△ (ヨブ 15:4, 5) あなたは、神を畏れる気持ちを弱まらせ、神への関心を薄れさせる。5あなたは自分の過ちに踊らされて語り*、ずる賢い話し方をする。

または、「あなたの過ちがあなたの口に何を言うかを教え」。

△ (ヨブ 19:1-3) ヨブはそれを聞いて言った。2「いつまで私をいら立たせ、言葉で打ちのめすのか。3こうして10回も私を叱責し*、私をひどく扱いながら恥じていない。

または、「侮辱し」。

△ (テモニ 3:1) このことを知っておきなさい。終わりの時代は困難で危機的な時になります。